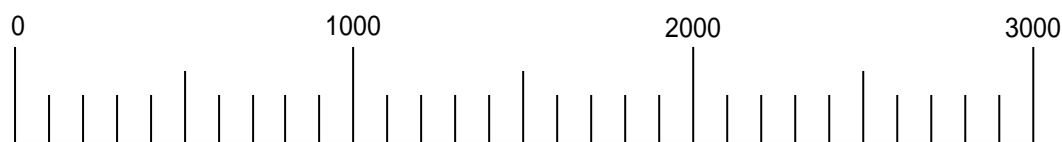


# 概数プリント 1

年 組 名前 \_\_\_\_\_

次の数直線を見ながら、  
千の位までの概数で表してみよう。



2 4 1 6      答え \_\_\_\_\_      1 2 3 4      答え \_\_\_\_\_

2 2 4 1      答え \_\_\_\_\_      2 5 1 1      答え \_\_\_\_\_

1 5 4 1      答え \_\_\_\_\_      2 4 9 9      答え \_\_\_\_\_



ここがポイント！

千の位までの概数と言うことは、

千の位まで数字がある（0ではない）  
ということよ。

2 4 1 6

4 1 6 は切り上げるのかな。  
切り捨てるのかな。

千の位まで数字が残る。

今度は数直線無しで、  
千の位の概数にしてみてね。



1 2 4 1 6      答え \_\_\_\_\_      2 5 2 3 4      答え \_\_\_\_\_

3 2 2 4 1      答え \_\_\_\_\_      4 2 5 1 1      答え \_\_\_\_\_

3 1 5 4 1      答え \_\_\_\_\_      9 2 4 9 9      答え \_\_\_\_\_



千の位までの概数なんだから、  
さっきと同じ考え方だよ。  
千の位まで数字があればいいんだ。

1 2 4 1 6

ここを四捨五入！  
千の位までの数字が残る。

数直線がなくても

平気！4 1 6 を  
切り捨てるのか、  
切り上げるのかは、  
一番左の位の数を  
見れば分かるはずさ。

終わった人は、 ~ を百までの概数にしてノートに書こう。

# 概数プリント 2

年 組 名前 \_\_\_\_\_

みんな、「の位までの概数」は分かったかな？

今日は、次の数字を上から2桁の概数で表してみよう。



2 4 1 6      答え \_\_\_\_\_      1 2 3 4      答え \_\_\_\_\_

2 2 4 1      答え \_\_\_\_\_      2 5 1 1      答え \_\_\_\_\_

1 5 4 1      答え \_\_\_\_\_      2 4 9 9      答え \_\_\_\_\_



ここがポイント！

上から2桁の概数と言うことは、

上から2桁まで数字がある（0ではない）  
ということよ。 の場合、24までが  
上から2桁だから、 のかな。  
24が消えないようにするためには、  
1を四捨五入すればいいのよ。

24

上から2桁

教科書P. 28の で練習しよう！

下の二つの数は、  
四捨五入で百の位までの概数で表すと、  
3700になるんだって！  
に当てはまる数を、全部言わなければならない  
んだ。難しいなあ。



3 6  9

答え \_\_\_\_\_

3 7  9

答え \_\_\_\_\_



百の位までの概数にするには、

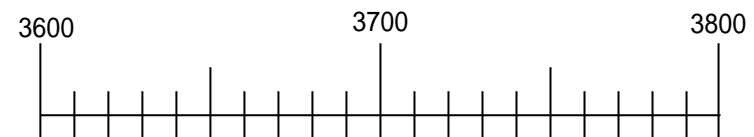
百の位まで数字を残すということ。

つまり、十の位を四捨五入するんだよね。

にどんな数字を入れたら3700になるのか、  
実際に0～9まで入れてやってみよう。

ノートにやるといいよ。

3700になった範囲をぬりつぶしてみよう。



ここをぬろう。